

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和元年10月1日
【四半期会計期間】	第76期第3四半期（自平成30年10月1日至平成30年12月31日）
【会社名】	フリージア・マクロス株式会社
【英訳名】	FREESIA MACROSS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奥山 一寸法師
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田東松下町17番地
【電話番号】	03 - 6635 - 1833（代）
【事務連絡者氏名】	会計責任者 浅井賢司
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田東松下町17番地
【電話番号】	03 - 6635 - 1833（代）
【事務連絡者氏名】	会計責任者 浅井賢司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成31年2月14日に提出いたしました第76期第3四半期（自平成30年10月1日至平成30年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、清流監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 財政状態及び経営成績の状況

a. 財政状態

第4 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第75期 第3四半期連結 累計期間	第76期 第3四半期連結 累計期間	第75期
会計期間	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
< 省略 >			
総資産額 (千円)	21,505,407	20,381,720	20,271,750
< 省略 >			
自己資本比率 (%)	30.6	33.1	32.8

< 省略 >

(訂正後)

回次	第75期 第3四半期連結 累計期間	第76期 第3四半期連結 累計期間	第75期
会計期間	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
< 省略 >			
総資産額 (千円)	21,460,693	20,337,006	20,227,036
< 省略 >			
自己資本比率 (%)	30.7	33.2	32.9

< 省略 >

第2【事業の状況】

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

a. 財政状態

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ109百万円増加し、20,381百万円となりました。主な要因は、関係会社株式の増加などによります。

また、負債は、前連結会計年度末に比べ、247百万円減少し、9,847百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が減少したことなどによります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べ357百万円増加し、10,533百万円となりました。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ109百万円増加し、20,337百万円となりました。主な要因は、関係会社株式の増加などによります。

また、負債は、前連結会計年度末に比べ、247百万円減少し、9,803百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が減少したことなどによります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べ357百万円増加し、10,533百万円となりました。

第4【経理の状況】

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年10月1日から平成30年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清流監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年10月1日から平成30年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清流監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、清流監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,668,910	2,035,369
受取手形及び売掛金	1,233,724	1,216,513
たな卸資産	4,320,169	4,597,012
その他	755,855	692,276
貸倒引当金	25,059	25,628
流動資産合計	8,953,599	8,515,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,927,023	2,884,501
機械装置及び運搬具	1,529,460	1,531,785
土地	5,194,707	5,191,049
その他	160,144	161,646
減価償却累計額	2,945,560	3,064,087
減損損失累計額	230,302	230,302
有形固定資産合計	6,635,472	6,474,594
無形固定資産		
借地権	297,891	297,891
その他	25,281	24,362
無形固定資産合計	323,173	322,253
投資その他の資産		
投資有価証券	269,960	139,723
関係会社株式	3,754,687	4,614,607
長期貸付金	103,581	57,684
繰延税金資産	32,024	52,162
その他	227,318	235,932
貸倒引当金	28,067	30,780
投資その他の資産合計	4,359,504	5,069,329
固定資産合計	11,318,150	11,866,177
資産合計	20,271,750	20,381,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,062,928	1,125,061
短期借入金	553,313	1,005,750
1年内返済予定の長期借入金	1,752,027	1,199,064
1年内償還予定の社債	211,000	300,000
未払金	225,162	202,533
未成工事受入金	16,595	8,630
未払法人税等	253,202	346,646
完成工事補償引当金	35,613	37,159
賞与引当金	27,010	64,460
その他	602,291	727,662
流動負債合計	4,739,144	5,016,969
固定負債		
社債	425,500	420,000
長期借入金	4,127,923	3,695,248
繰延税金負債	162,176	160,422
退職給付に係る負債	35,878	38,352
負ののれん	177,718	161,289
その他	427,166	355,678
固定負債合計	5,356,363	4,830,990
負債合計	10,095,508	9,847,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,077,766	2,077,766
資本剰余金	973,816	973,815
利益剰余金	3,702,714	3,776,590
自己株式	19,732	20,011
株主資本合計	6,734,563	6,808,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,176	62,473
為替換算調整勘定	3,386	865
退職給付に係る調整累計額	7,177	7,082
その他の包括利益累計額合計	88,612	54,525
非支配株主持分	3,530,290	3,780,123
純資産合計	10,176,241	10,533,759
負債純資産合計	20,271,750	20,381,720

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,668,910	2,035,369
受取手形及び売掛金	1,233,724	1,216,513
たな卸資産	4,275,455	4,552,298
その他	755,855	692,276
貸倒引当金	25,059	25,628
流動資産合計	8,908,886	8,470,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,927,023	2,884,501
機械装置及び運搬具	1,529,460	1,531,785
土地	5,194,707	5,191,049
その他	160,144	161,646
減価償却累計額	2,945,560	3,064,087
減損損失累計額	230,302	230,302
有形固定資産合計	6,635,472	6,474,594
無形固定資産		
借地権	297,891	297,891
その他	25,281	24,362
無形固定資産合計	323,173	322,253
投資その他の資産		
投資有価証券	269,960	139,723
関係会社株式	3,754,687	4,614,607
長期貸付金	103,581	57,684
繰延税金資産	32,024	52,162
その他	227,318	235,932
貸倒引当金	28,067	30,780
投資その他の資産合計	4,359,504	5,069,329
固定資産合計	11,318,150	11,866,177
資産合計	20,227,036	20,337,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,018,215	1,080,347
短期借入金	553,313	1,005,750
1年内返済予定の長期借入金	1,752,027	1,199,064
1年内償還予定の社債	211,000	300,000
未払金	225,162	202,533
未成工事受入金	16,595	8,630
未払法人税等	253,202	346,646
完成工事補償引当金	35,613	37,159
賞与引当金	27,010	64,460
その他	602,291	727,662
流動負債合計	4,694,431	4,972,256
固定負債		
社債	425,500	420,000
長期借入金	4,127,923	3,695,248
繰延税金負債	162,176	160,422
退職給付に係る負債	35,878	38,352
負ののれん	177,718	161,289
その他	427,166	355,678
固定負債合計	5,356,363	4,830,990
負債合計	10,050,795	9,803,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,077,766	2,077,766
資本剰余金	973,816	973,815
利益剰余金	3,702,714	3,776,590
自己株式	19,732	20,011
株主資本合計	6,734,563	6,808,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,176	62,473
為替換算調整勘定	3,386	865
退職給付に係る調整累計額	7,177	7,082
その他の包括利益累計額合計	88,612	54,525
非支配株主持分	3,530,290	3,780,123
純資産合計	10,176,241	10,533,759
負債純資産合計	20,227,036	20,337,006

独立監査人の四半期レビュー報告書

令和元年9月30日

フリージア・マクロス株式会社

取締役会 御中

清流監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	加悦正史	印
業務執行社員	公認会計士	志藤篤	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフリージア・マクロス株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年10月1日から平成30年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フリージア・マクロス株式会社及び連結子会社の平成30年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成31年2月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。